

防 除 情 報

平成 17 年 7 月 22 日
長崎県病害虫防除所長

平成 17 年度病害虫発生予察 防除情報第 10 号

コブノメイガ、トビイロウンカの飛来状況について

コブノメイガ、トビイロウンカの飛来状況は以下のとおりとなっています。特に、トビイロウンカはやや多い飛来状況ですので注意してください。

記

1. 飛来状況等

1) コブノメイガ

7月2～14日にかけて断続的に飛来が認められた(表)。主な飛来波は7月5、9、13日と考えられ、飛来量は平年並～やや少ないと思われる。

2) トビイロウンカ

- (1) 7月2～15日頃にかけて断続的に飛来が認められた(表)。主な飛来波は7月5、10、13日と考えられる。予察灯(諫早市の白色灯、青色灯)では、6月1半旬～7月4半旬の飛来量は平年並であるが(表1)、白色灯は最近5か年で最も多く、青色灯は平成15年について多い状況となっている(表2)。
- (2) 7月上旬の巡回調査(122筆調査)の結果、普通期水稻における株当たり虫数は0.01頭(平年0.00頭)、7月3半旬の県予察圃場(普通期、無防除、諫早市)調査では、株当たり虫数が0.04頭(平年0.02頭)で平年よりやや多い飛来量と思われる。

2. 防除対策

- (1) コブノメイガの防除は、粉剤では成虫発生最盛期の7～10日後、粒剤は成虫発生最盛期におこなう。
- (2) トビイロウンカは、今後の圃場での発生状況に十分注意し、8月上旬に100株当たり20頭以上の成虫の寄生が認められる場合、幼虫ふ化揃い期に防除をおこなう。薬剤散布は株元に薬剤が十分付着するよう丁寧におこなう。
- (3) コブノメイガ、トビイロウンカの今後の発生は別紙(発消長情報の項を参照)のように予測される。ただし、地域や圃場によって飛来状況が異なったり、今後の気温の推移によっては発生状況が異なってくるので、圃場での発生状況に注意して防除をおこなう。

表1 トビイロウンカ及びコブノメイガの飛来状況

月日	トビイロウンカ						コブノメイガ	
	諫早			島原	佐世保	岐宿	諫早	
	白色灯	青色灯	ネット トラップ	白色灯	白色灯	白色灯	蛍光灯 採集箱	追い出し虫数 ¹⁾ (頭/10m ²)
7/1	0	0	0	0	0	0	0	0
2	1	0	0	0	0	0	0	0
3	0	0	0	0	0	0	0	0.1
4	0	0	0	0	0	0	0	0.1
5	0	1	0	0	0	0	3	0.3
6	0	0	0	1	0	0	0	0.4
7	0	0	0	3	0	0	0	1.7
8	0	0	0	0	0	0	0	1.2
9	0	0	0	0	0	0	0	0.8
10	0	4	0	0	0	0	0	0.6
11	0	0	0	0	1	0	0	0.4
12	3	0	0	0	3	0	0	0.6
13	4	16	0		14	0	0	0.7
14	4	1	0		0	0	0	3.1
15	0	1	0		1	0	0	2.1
16	0	0	0		2	0	0	1.0
17	0	1	0		0	0	0	0.5
18	0	1	0		0		0	0.1
19	0	1	0		0		0	0.1
20	0	0	0				0	0
計 ²⁾	12 (15.3)	26 (31.6)	0 (0.8)	-	-	-	3 (25.4)	-

注1) コブノメイガの追い出し虫数は県予察圃(早期、無防除、諫早市)の100m²調査における成虫数を10m²あたりに換算

注2) 6月1半旬~7月4半旬の合計値
()内はH7~16年の最大・小値を除いた平均値

表2 過去5か年の予察灯(諫早市)におけるトビイロウンカの誘殺数

年度	H12	H13	H14	H15	H16	本年
白色灯	2	1	1	1	0	12
青色灯	3	4	0	35	0	26

注) 誘殺数は6月1半旬~7月4半旬の合計